

説話文学会二〇二五年度九月例会

中近世の浅草寺

— 信仰と美術、天台談義所などの視点から —



浅草寺所蔵『浅草寺縁起(伝応永本)』より

開催趣旨

浅草寺は7世紀に創建した古刹で、観音霊場として広く人々の信仰を集めてきました。この度、中世・近世の浅草寺について、浅草寺が所蔵する資史料や文化財を紹介しつつ、観音信仰、おみくじ、文化財や美術、歴史、天台談義所(学問)といった多角的観点から検討してみたいと思います。

基調講演・研究発表を午後に行い、午前には、浅草寺内の特別拝観と、浅草寺所蔵『浅草寺縁起』(写本4種、うち3種は絵巻)、『轍塵抄』等の資料展示を実施いたします。

貴重な機会ですので、是非とも奮ってご参加ください。

基調講演・研究発表

【基調講演】浅草寺から西国巡礼観音を望む

京都女子大学 中前正志氏

【発表1】漢詩みくじの変遷と特質 — 浅草寺観音籤を起点として —

成蹊大学 平野多恵氏

【発表2】浅草寺における造形とその特質 — 観音・神馬・絵馬 —

浅草寺 藤元裕二氏

【発表3】中世の浅草寺と浅草

大正大学 伊藤宏之氏

【発表4】浅草寺の学問 — 「浅草寺縁起」・「轍塵抄」を中心に —

大正大学 渡辺麻里子氏

2025年

9月6日(土)

13:00~17:30 (受付・開場 12:30)

浅草寺 五重塔院内会議室

参加費1,000円

(資料代として、当日受付でお納めください。)

対面開催のみ ※準備の都合上、FORMにて、事前申込をお願いします。

お申込み
お問合せ

お申込み・お問合せは、右のQRコード、またはホームページ上のリンクからお願いします。
<https://forms.gle/n2gp4HZDXDZTyb9MA>
※この学会について、浅草寺へのお問合せはお控えください。



■ 特別拝観・資料展示見学は、午前に実施します。10時集合、11時40分終了(予定)

主催 説話文学会

共催 浅草寺

JSPS・基盤C「園城寺所蔵中世天台関係聖教の調査による天台談義書ネットワークの解明」(22K00299 研究代表・渡辺麻里子)

プログラム

■ 第Ⅰ部 基調講演

- 13:00 開会の辞 大正大学 田中仁氏
ご挨拶 浅草寺教化部 清水谷尚順氏
- 13:10 趣旨説明・講師紹介 大正大学 渡辺麻里子氏
- 13:25 【基調講演】

浅草寺から西国巡礼観音を望む

京都女子大学 中前正志氏

(休憩)

■ 第Ⅱ部 シンポジウム

- 14:30 【発表1】
漢詩みくじの変遷と特質
— 浅草寺観音籤を起点として —
成蹊大学 平野多恵氏
- 15:05 【発表2】
浅草寺における造形とその特質
— 観音・神馬・絵馬 —
浅草寺 藤元裕二氏
- (休憩)
- 15:50 【発表3】
中世の浅草寺と浅草
大正大学 伊藤宏之氏
- 16:25 【発表4】
浅草寺の学問
— 『浅草寺縁起』・『轍塵抄』を中心に —
大正大学 渡辺麻里子氏
- 17:00 質疑応答
- 17:25 閉会の辞 説話文学会事務局 渡辺麻里子氏
(17:30 終了予定)

特別拝観・資料展示見学(午前)

- 10:00 集合 (受付 9:40～ 浅草寺五重塔)
- 10:10～11:40 特別拝観・資料展示見学

①資料展示 ②絵馬堂 ③伝法院庭園を、ツアー形式で廻ります。
3つのグループに分かれ、案内者に付いて、各30分ずつ見学します。

なお、申し訳ございませんが、資料展示の見学はこの時間のみで、午後の展示はいたしません。また、当日の急なご参加は対応しかねますので、必ず事前のお申し込みをお願いいたします。所定の人数に達した場合は、締め切らせていただきます。どうぞご了承ください。

展示資料(予定)

『浅草寺縁起(伝応永本、絵巻)』、『浅草寺縁起(寛文本、絵巻)』、
『浅草寺縁起(慶安本、絵巻)』、『浅草寺縁起(承応本)』、『轍塵抄』、
『阿婆婆抄』他。

会場について

- メイン会場 浅草寺五重塔院内会議室(9:40開場)
- 休憩室(メイン会場隣、約40席)
この部屋は飲食可としますが、ゴミは必ず個人でお持ち帰りください。
- クロークは特にご用意しておりません。
会場に持ち込めない大きな荷物は、1階ロビーフロアに置き場の確保をしています。
ただ、スタッフは配置いたしませんので、ご了承ください。
- 書籍の販売
台東区教育委員会刊行の報告書を五重塔1階ロビーフロアにて販売します。
(例)台東区教育委員会『浅草寺絵巻』(『台東区文化財調査報告書』56、台東区の絵巻3)

講演者・発表者紹介 (登壇順)

中前正志 (なかまえ まさし)

京都女子大学文学部国文学科 特任教授

専門分野は、宗教説話、宗教文学。代表業績は、『神仏霊験譚の息吹き—身代わり説話を中心に—』(臨川書店、2011年)、『寺院内外伝承差の原理—縁起通史の試みから—』(法蔵館、2021年)など。

平野多恵 (ひらの たえ)

成蹊大学文学部 教授

専門分野は、日本中世文学、おみくじの文化史。代表業績は、『おみくじの歴史 神仏のお告げはなぜ詩歌なのか』(吉川弘文館、2023年)、『おみくじの歌』(笠間書院、2019)、『くずし字がわかる あべのせいめい歌占』(柏書房、2024年)など。

藤元裕二 (ふじもと ゆうじ)

浅草寺学芸員

専門分野は、美術史、日本中世の仏教絵画史。代表業績は、『詫磨派研究』(藝華書院、2012年)、『茨城県筑西市東容山千妙寺所蔵絵画調査報告書』(デザインエッグ、2024年)など。

伊藤宏之 (いとう ひろゆき)

大正大学文学部歴史学科 准教授

専門分野は、日本中近世信仰史。中近世の石造物、板碑。代表業績は、『浅草寺の金石』(浅草寺、2003年)、『台東区の絵巻』シリーズ、『浅草寺の版木』、『浅草寺の絵馬と扁額』(いずれも台東区教育委員会刊行)など。

渡辺麻里子 (わたなべ まりこ)

大正大学文学部日本文学科 教授

専門分野は、日本中世文学、仏教説話。代表業績は、『天台の論義書と談義書』(『日本仏教と論義』法蔵館、2020年)、『法華経注釈書の位相—『轍塵抄』の「訓読之志」を端緒として—(『仏教文学』24、2000年)など。

浅草寺境内案内図

